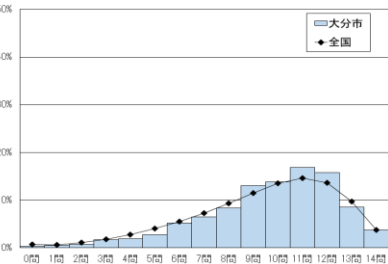
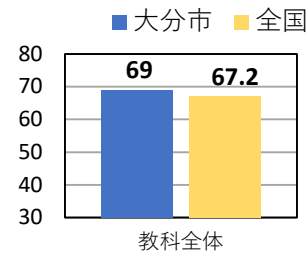


平均正答率（％）

正答数の度数分布

過去3年間の領域別平均正答率（％）



学習指導要領の内容			言葉の特徴や使い方に関する事項			情報の扱い方に関する事項			我が国の言語文化に関する事項			話すこと・聞くこと			書くこと			読むこと		
実施年度・学年等	年度	学年	大分市	全国	差	大分市	全国	差	大分市	全国	差	大分市	全国	差	大分市	全国	差	大分市	全国	差
R3	小4	市	73.0	74.0	-1.0	66.6	64.4	2.2	89.2	86.2	3.0	63.1	63.4	-0.3	56.8	59.6	-2.8	69.8	67.1	2.7
R4	小5	県	74.4	72.8	1.6	63.0	59.1	3.9	70.5	68.2	2.3	64.3	60.7	3.6	59.7	48.6	11.1	75.4	73.3	2.1
R5	小6	国	72.7	71.2	1.5	64.2	63.4	0.8	-	-	-	76.2	72.6	3.6	28.1	26.7	1.4	73.3	71.2	2.1

問題作成の趣旨（文部科学省作成資料より）

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、測定しようとする資質・能力を発揮することが求められる言語活動を展開する文脈を重視した。

課題が見られる問題について

◆考えの形成、記述について

領域	評価の観点			問題形式		
	知・技	思・判・表	態度	選択式	短答式	記述式
書くこと		○				○

実施学年等	小学校第5学年次（R4実施）	小学校第6学年次（R5実施）※今回																
出題の趣旨	自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫することができる。	図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。																
実際の問題（一部）及び正答率	<p>新聞係が、クラスの人の活躍を学級新聞で紹介するという設定のもと、トリアスロン大会に参加した川口さんの取材メモを用いて、新聞に載せる文章を書く問題。</p> <p>正答の条件としては、次の4つが挙げられる。 条件1：7行から、9行の間で書く。 条件2：2つの段落に分けて書く。 条件3：1つ目の段落には、「いつ」「どこで」「だれが」「どうした（何をした）」のかを文章で書く。 条件4：2つ目の段落には、川口さんの話を取り上げ、その話に対するあなたの感想を書く。</p> <table border="1"> <tr> <th>大分市</th> <th>全国</th> </tr> <tr> <td>59.7%</td> <td>48.6%</td> </tr> </table>	大分市	全国	59.7%	48.6%	<p>【川村さんの文章】のグラフ</p> <p>【カード④】 7月20日 【農家の石山さんのお話】 ・雑草に栄養をどられると、米のしゅうかくが減る。 ・雑草が多いと、いねが病気になることがある。 ・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。</p> <p>【カード⑤】 7月21日 【学校でできる解決方法】 ・雑草取りの回数を増やす。 ・雑草取りの人数を増やす。</p> <p>総合的な学習との関連を図り、学校の田んぼで取り組んだ米作りについての文章を書くという設定のもと、記録していたカードの情報とグラフを用いて学校の米作りの問題点とその解決方法について書く問題。</p> <p>正答の条件としては、次の3つが挙げられる。 条件1：問題点については【川村さんの文章】のグラフと【カード④】のそれぞれから分かることを書く。 条件2：問題点の解決方法は【カード⑤】をもとに書く。 条件3：60字以上、100字以内で書く。</p> <table border="1"> <tr> <th>大分市</th> <th>全国</th> <th colspan="2">※無解答率</th> </tr> <tr> <td>28.1%</td> <td>26.7%</td> <th>大分市</th> <th>全国</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>5.8%</td> <td>7.1%</td> </tr> </table>	大分市	全国	※無解答率		28.1%	26.7%	大分市	全国			5.8%	7.1%
大分市	全国																	
59.7%	48.6%																	
大分市	全国	※無解答率																
28.1%	26.7%	大分市	全国															
		5.8%	7.1%															

【今年度の誤答の傾向】

- ・グラフから分かる「雑草の量が増え続ける」という学校の米作りの問題点を書くことができていない。（誤答例「農家も雑草が生えています」）
- ・グラフやカードのいずれかの情報を用いて、自分の考えを書いている児童は多いが、グラフを含めた3つの情報（**複数の情報**）を用いて、学校の米作りの問題点とその解決方法について書くという条件を満たして書き表すことができていない。また、学校の米作りの問題点について、グラフとカードのそれぞれから分かることを書いたとしても、その情報が原因と結果という関係であることを見だし、結び付けて書くことができていない。

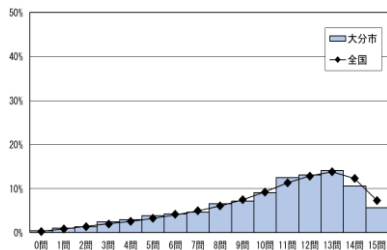
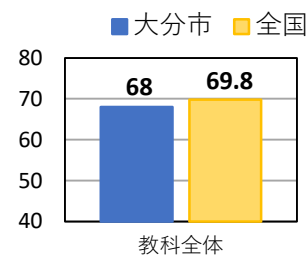
【指導に当たって】

- ・伝えたいことを明確にし、分かりやすく伝えるためには、どのような図表やグラフを作成するとよいか、児童に考えさせる必要がある。
- ・【知識及び技能】の「情報と情報との関係」の指導事項との関連を図り、**単一の情報**のみに基づくのではなく、**複数の情報を比較したり、関連付けたりして検討すること**を指導する必要がある。（3.4年は「考えとそれを支える理由や事例」「全体と中心」などの情報と情報の関係。5.6年は、原因と結果などの情報と情報との関係【今回の学力調査問題は原因と結果】）

平均正答率（％）

正答数の度数分布

過去3年間の内容別平均正答率（％）



学習指導要領の内容			言葉の特徴や使い方に関する事項			情報の扱い方に関する事項			我が国の言語文化に関する事項			話すこと・聞くこと			書くこと			読むこと		
実施年度・学年等	年度	学年	大分市	全国	差	大分市	全国	差	大分市	全国	差	大分市	全国	差	大分市	全国	差	大分市	全国	差
R3	中1	市	68.3	64.2	4.1	50.7	47.7	3.0	63.4	59.0	4.4	68.8	66.8	2.0	61.7	57.6	4.1	61.3	59.4	1.9
R4	中2	県	76.1	73.5	2.6	47.0	47.6	-0.6	91.9	89.2	2.7	63.7	62.4	1.3	67.2	62.8	4.4	61.8	61.1	0.7
R5	中3	国	64.4	67.5	-3.1	61.2	63.4	-2.2	76.0	74.7	1.3	81.3	82.2	-0.9	59.7	63.2	-3.5	61.5	63.7	-2.2

問題作成の趣旨（文部科学省作成資料より）

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、測定しようとする資質・能力を発揮することが求められる言語活動を展開する文脈を重視した。

課題が見られる問題について

領域	評価の観点			問題形式		
	知・技	思・判・表	態度	選択式	短答式	記述式
書くこと		○				○

◆根拠を明確にして書くこと

実施学年等	中学校第1学年次（R3実施）	中学校第3学年次（R5実施）※今回																
出題の趣旨	根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができる。																
実際の問題（一部）及び正答率	<p>美化委員である生徒が、地域の美化活動について全校に報告するための文章を書いているという設定のもと、報告文の中の「今後の対応」について、3つの条件に沿って書くという問題。</p> <p>条件1：委員の考えのつぶやきをもとに書くこと。 条件2：資料から読み取ったことを数値を挙げて書くこと。 条件3：資料から読み取ったことの改善策を具体的に考えて書くこと。</p> <p>※字数制限はない。</p> <table border="1"> <tr> <th>大分市</th> <th>全国</th> </tr> <tr> <td>34.2%</td> <td>37.7%</td> </tr> </table>	大分市	全国	34.2%	37.7%	<p>国語の時間に、絵から連想される言葉を当てるクイズである「判じ絵」を通して言葉に関して興味をもったことをレポートにまとめているという設定のもと、レポートにある「判じ絵」の解説の説明を参考にして、新たに別の「判じ絵」の解説の説明を書き加えるという問題。</p> <p>※左の「判じ絵」の解説 A：さら（さくらの真ん中「く」を消す） B：なす（すなを逆さまにする）</p> <p>正答の条件としては、次の3つが挙げられる。 条件1：AとBの「判じ絵」から、1つ選んでいる。 条件2：「図3は」というレポートの中に、適切に続くように書いている。 条件3：選んだ「判じ絵」について、解説の仕方を書いている。</p> <p>※字数制限はない。</p> <table border="1"> <tr> <th>大分市</th> <th>全国</th> <th colspan="2">※無解答率</th> </tr> <tr> <td>68.1%</td> <td>72.1%</td> <th>大分市</th> <th>全国</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>12.9%</td> <td>10.2%</td> </tr> </table>	大分市	全国	※無解答率		68.1%	72.1%	大分市	全国			12.9%	10.2%
大分市	全国																	
34.2%	37.7%																	
大分市	全国	※無解答率																
68.1%	72.1%	大分市	全国															
		12.9%	10.2%															

【今年度の誤答の傾向】

- ・条件3の解説の仕方を書いておらず、解説の根拠を示していない生徒…11.8% →相手意識をもって根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫できていない。
- ・この問題は、字数に関して条件がないが、無解答率が全国よりも2.7%高い。字数の多さに限らず、書くことに対する抵抗感があると考えられる。

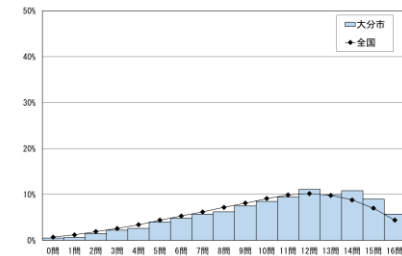
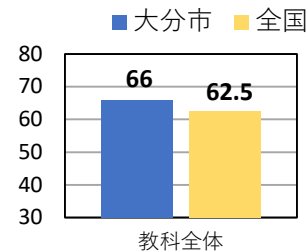
【指導に当たって】

- ・文章を書く際に、自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを吟味した上で、根拠として文章の中に記述するように、文章の構成を考えさせる必要がある。
- ・書くこと オ「根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと」についても、ペアやグループ活動等を通して併せて指導することがより効果的である。

平均正答率（％）

正答数の度数分布

過去3年間の領域別平均正答率（％）



学習指導要領の領域			数と計算			図形			測定			変化と関係			データの活用		
実施年度	学年	実施主体	大分市	全国	差	大分市	全国	差	大分市	全国	差	大分市	全国	差	大分市	全国	差
R3	小4	市	74.3	68.7	5.6	68.3	64.3	4.0	-	-	-	80.7	78.6	2.1	72.3	64.7	7.6
R4	小5	県	71.7	65.2	6.5	65.6	58.7	6.9	-	-	-	73.3	66.4	6.9	60.7	52.3	8.4
R5	小6	国	70.0	67.3	2.7	54.4	48.2	6.2	-	-	-	72.1	70.9	1.2	68.6	65.5	3.1

問題作成の趣旨（文部科学省作成資料より）

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、「事象を数理的に捉え、算数の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行する」という数学的活動を行う文脈を重視した。

課題が見られる問題について

◆ 図形の構成の仕方を観察して図形について判断すること

領域	評価の観点			問題形式		
	知・技	思・判・表	態度	選択式	短答式	記述式
図形	○				○	

◆ 目的に応じてデータの特徴や傾向を読み取ったり捉えたりすること

領域	評価の観点			問題形式		
	知・技	思・判・表	態度	選択式	短答式	記述式
データの活用		○				○

実施学年等	小学校第4学年次 (R3実施)	小学校第6学年次 (R5実施) ※今回												
出題の趣旨	ひし形の特徴について理解している	正三角形の意味や性質について理解している												
実際の問題（一部）及び正答率	<p>※著作権の関係で掲載不可</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>大分市</td> <td>全国</td> </tr> <tr> <td>正答率</td> <td>32.7%</td> <td>29.3%</td> </tr> </table>		大分市	全国	正答率	32.7%	29.3%	<p>ゆいな</p> <p>私は、④の角の大きさを20°にしました。切って開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。</p> <p>ケ</p> <p>コ</p> <p>サ</p> <p>二等辺三角形</p> <p>わたる</p> <p>私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、④の角の大きさをゆいさんとちがう大きさにして切りました。</p> <p>切って開いた三角形を正三角形にするには、④の角の大きさを何度にすればよいですか。</p> <p>答えを書きましょう。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>大分市</td> <td>全国</td> </tr> <tr> <td>正答率</td> <td>24.3%</td> <td>24.9%</td> </tr> </table>		大分市	全国	正答率	24.3%	24.9%
	大分市	全国												
正答率	32.7%	29.3%												
	大分市	全国												
正答率	24.3%	24.9%												

【今年度の誤答の傾向】

60度と回答している児童…33.8% → 切って開く前の角であることに着目できず、正三角形の一つの角の大きさを解答している。

【指導に当たって】

- 図形を作ったり分解したり、作図したりする活動では、辺や角等の図形を構成する要素に着目して考えるようにする。その際、目的の図形をつくるための操作の見通しを立てることが必要である。
- 図形領域の正答率は、他の領域と比較して低くなることが多い。授業においては、観察や構成などの活動を通して既習の図形の性質を想起させたり、図形の意味や性質について考察させたりすることが重要である。

実施学年等	小学校第5学年次 (R4実施)	小学校第6学年次 (R5実施) ※今回																		
出題の趣旨	二次元の表を分析し結論を見いだすとともに、求め方を説明する	示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述する																		
実際の問題（一部）及び正答率	<p>※著作権の関係で掲載不可</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>大分市</td> <td>全国</td> </tr> <tr> <td>正答率</td> <td>25.0%</td> <td>17.6%</td> </tr> <tr> <td>無解答率</td> <td>13.8%</td> <td>—</td> </tr> </table>		大分市	全国	正答率	25.0%	17.6%	無解答率	13.8%	—	<p>【「0日」についてまとめたこと】</p> <p>「0日」に着目すると、次のようなちがひがあります。</p> <p>6年生のグラフでは「0日」の人数が1番目に多く、5年生と6年生を合わせたグラフでは「0日」の人数が3番目に多いです。</p> <p>【「0日」についてまとめたこと】と同じように、「1日」に着目してまとめると、どのようになりますか。</p> <p>下の□の中に、「6年生のグラフ」、「5年生と6年生を合わせたグラフ」、「1日」の3つの言葉と数を使って書きましょう。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>大分市</td> <td>全国</td> </tr> <tr> <td>正答率</td> <td>60.3%</td> <td>56.2%</td> </tr> <tr> <td>無解答率</td> <td>11.5%</td> <td>13.8%</td> </tr> </table>		大分市	全国	正答率	60.3%	56.2%	無解答率	11.5%	13.8%
	大分市	全国																		
正答率	25.0%	17.6%																		
無解答率	13.8%	—																		
	大分市	全国																		
正答率	60.3%	56.2%																		
無解答率	11.5%	13.8%																		

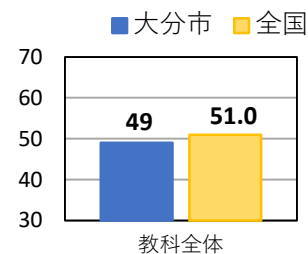
【今年度の誤答の傾向】

無回答の児童…11.5%（全国13.8%） → データの特徴や傾向について、読み取ったり捉えたりしたことを表現することに課題がある。

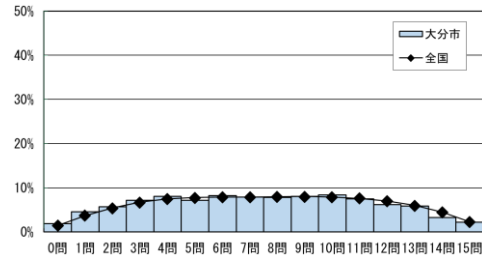
【指導に当たって】

- 複数のグラフを比べて見いだしたことを他者に分かりやすく表現できるようにする。その際、グラフのどの部分から考えたのかを説明させることが必要である。
- 同じグラフを異なる目盛りの付け方で表した複数のグラフを比較させたり、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読ませたりすることにより、棒グラフの表し方を変えることで比べやすくなり分かりやすくなりやすくなることに気付くようにすることが重要である。

平均正答率（％）



正答数の度数分布



過去3年間の領域別平均正答率（％）

学習指導要領の領域			数と式			図形			関数			データの活用			
実施年度・学年等	年度	学年	実施主体	大分市	全国	差	大分市	全国	差	大分市	全国	差	大分市	全国	差
	R3	中1	市	59.2	55.5	3.7	75.4	73.5	1.9	54.2	53.0	1.2	-	-	-
	R4	中2	県	72.0	66.7	5.3	58.3	56.4	1.9	58.1	54.1	4.0	51.2	47.6	3.6
	R5	中3	国	61.0	63.0	-2.0	29.6	33.2	-3.6	50.1	51.2	-1.1	49.1	48.5	0.6

問題作成の趣旨（文部科学省作成資料より）

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、「事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行する」という数学的活動を行う文脈を重視した。

課題が見られる問題について

領域	評価の観点			問題形式		
	知・技	思考・表現	態度	選択式	短答式	記述式
数と式	○			○		

◆事柄が成り立つことを根拠に基づいて証明すること

領域	評価の観点			問題形式		
	知・技	思考・表現	態度	選択式	短答式	記述式
図形		○				○

実施学年等	中学校第1学年次 (R3実施)	中学校第3学年次 (R5実施) ※今回								
出題の趣旨	絶対値について理解している。	自然数について理解している。								
実際の問題（一部）及び正答率	※著作権の関係で掲載不可 <table border="1"> <tr> <th>大分市</th> <th>全国</th> </tr> <tr> <td>89.8%</td> <td>87.9%</td> </tr> </table>	大分市	全国	89.8%	87.9%	1 下のアからオまでの数の中から自然数をすべて選びなさい。 ア -5 イ 0 ウ 3 エ 4.7 オ 9 <table border="1"> <tr> <th>大分市</th> <th>全国</th> </tr> <tr> <td>40.9%</td> <td>46.1%</td> </tr> </table>	大分市	全国	40.9%	46.1%
大分市	全国									
89.8%	87.9%									
大分市	全国									
40.9%	46.1%									

実施学年等	中学校第2学年次 (R4実施)	中学校第3学年次 (R5実施) ※今回												
出題の趣旨	模様どうしの関係を、回転移動を用いて説明することができる。	2つの直線が平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを用いて証明することができる。												
実際の問題（一部）及び正答率	※著作権の関係で掲載不可 <table border="1"> <tr> <th>大分市</th> <th>全国</th> </tr> <tr> <td>28.6%</td> <td>34.0%</td> </tr> <tr> <td>無解答率</td> <td>27.7%</td> </tr> </table>	大分市	全国	28.6%	34.0%	無解答率	27.7%	(1) 優奈さんは、前ページの方法1の直線BCと直線AEが平行になるかどうかを調べるために、右の図6をかきました。図6の△ABCと△CEAは、それぞれCA=CB、AC=AEで、△ABC≡△CEAです。 図6において、BC//AEであることは、すでにわかっている△ABC≡△CEAをもとにして、同位角または錯角が等しいことを示すことで証明できます。BC//AEであることを証明しなさい。 <table border="1"> <tr> <th>大分市</th> <th>全国</th> </tr> <tr> <td>正答率</td> <td>26.4%</td> </tr> <tr> <td>無解答率</td> <td>29.0%</td> </tr> </table>	大分市	全国	正答率	26.4%	無解答率	29.0%
大分市	全国													
28.6%	34.0%													
無解答率	27.7%													
大分市	全国													
正答率	26.4%													
無解答率	29.0%													

【今年度の誤答の傾向】

イ・ウ・オを選択している生徒…33.2% → 自然数の意味の理解に課題がある。（自然数に0が含まれると捉えている）

【今年度の誤答の傾向】

無回答の生徒…29.0%（全国24.7%） → 記述式の問題の無回答率が高く、「根拠」と「成り立つ事柄」を関連付けて表現することに課題がある。

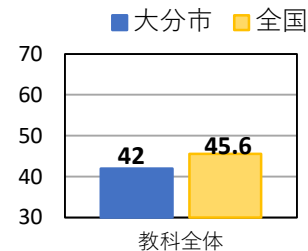
【指導に当たって】

- 数の集合の定義に基づいて、様々な数の中から自然数や整数を判断する活動を取り入れる。その際、0は整数に含まれるが、自然数には含まれないことを確認することが必要である。
- 他の領域についても、知識・技能を問う選択式・短答式の問題において、正答率が低い状況も見られることから、授業で既習の振り返りをしたり、家庭学習等においてプリント学習で繰り返し復習したりするなど、定着の状況を把握する取組を工夫することが必要である。

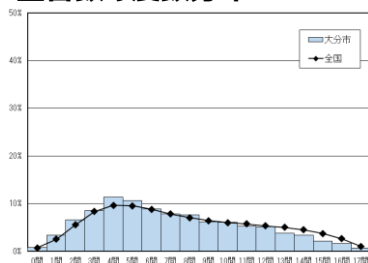
【指導に当たって】

- 小学校で学習した同位角や平行線の性質について振り返りながら、図形の観察や操作（ICT機器の活用を含む）を通し、基本的な図形の性質（同位角や錯角が等しいとき平行になるなど）を根拠として、事柄が成り立つことを確かめたり、理由を説明し合ったりする活動を行うことが必要である。
- 短答式の練習問題においても、単に角の大きさを求めることのみで終わることなく、根拠（角の大きさを求める過程で用いられている図形の性質や関係）を明らかにして説明することが大切である。

平均正答率（%）



正答数の度数分布



過去3年間の領域別平均正答率（%）

学習指導要領の領域			聞くこと			読むこと			話すこと(やり取り)			話すこと(発表)			書くこと		
実施年度	学年	実施主体	大分市	全国	差	大分市	全国	差	大分市	全国	差	大分市	全国	差	大分市	全国	差
R3	中1	市	58.0	58.9	-0.9	59.3	57.4	1.9	-	-	-	-	-	-	59.4	50.8	8.6
R4	中2	県	52.0	54.2	-2.2	59.8	59.4	0.4	-	-	-	-	-	-	52.0	50.7	1.3
R5	中3	国	54.1	58.4	-4.3	48.3	51.2	-2.9	10.0	14.5	-4.5	3.7	4.2	-0.5	19.4	23.4	-4.0

問題作成の趣旨（文部科学省作成資料より）

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、「知識及び技能」を測ることに加え、それらをコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて活用できる「思考力、判断力、表現力等」を測ることを重視した。

課題が見られる問題について

◆ 英文の要点を聞き取ること

領域	評価の観点			問題形式		
	知・技	思・判・表	態度	選択式	短答式	記述式
聞くこと		○		○		

実施学年等	中学校第2学年次 (R4実施)	中学校第3学年次 (R5実施) ※今回								
出題の趣旨	英文の要点を聞き取ることができる。	社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。								
実際の問題（一部）及び正答率	※著作権の関係で掲載不可 <table border="1"> <tr><th>大分市</th><th>全国</th></tr> <tr><td>48.8%</td><td>50.9%</td></tr> </table>	大分市	全国	48.8%	50.9%	※右参照 <table border="1"> <tr><th>大分市</th><th>全国</th></tr> <tr><td>50.2%</td><td>54.8%</td></tr> </table>	大分市	全国	50.2%	54.8%
大分市	全国									
48.8%	50.9%									
大分市	全国									
50.2%	54.8%									

【今年度の誤答の傾向】

1 (14.9%) 2 (50.2%) 3 (14.3%) 4 (19.8%) 無回答 (0.8%)

→話し手が伝えようとする最も重要なことは何であるかを判断して捉えることに課題がある。

【指導に当たって】

- 聞いた後に何をすべきか、目的をもって英語を聞くことを日常的に行うことが必要。
- できるだけ1回で聞き取れるよう指導するが、複数回聞く必要がある場合は、「話の大まかな内容は何か」、「話し手が最も伝えたいことは何か」など、その都度異なる視点を与えて聞かせることが大切。
- A L Tの話す英語を聞いたり、一人1台端末を利用したりして、自然な口調で話される英語に慣れるように指導することも大切。
- 一人1台端末等を用いて音声の速度を変えて英語を聞いたり、音のつながりや音の変化の指導を行ったりすることも考えられる。

4 (放送問題)

あなたのクラスは、シンガポールにある姉妹校の生徒たちと、オンラインで地域の課題について意見交換をしています。これから、姉妹校の生徒であるジェニーの話を聞くところです。ジェニーが最も伝えたいことを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- There isn't enough water in Singapore.
- Doing something to save water is important.
- I take showers for only five minutes each time.
- One of my friends uses rain water for the plants in his room.

(スクリプト)

Hi, I'm Jenny. Today, I'm going to share our ideas about a water problem in our country. There isn't enough water in Singapore. My classmates and I talked about this problem at school. We all said, "We cannot do something big, but doing something to save water is important for even junior high school students." For example, I take showers for only five minutes each time. Also, I turn off the water when I brush my teeth. One of my friends uses rain water for the plants in his room. We are all trying to do something to save water. What do you think?